

平成29年5月定例会 議事録

- ・日 時：平成29年5月11日（木）19：00～20：50
- ・場 所：石川県NPO活動支援センター「あいむ」ロビー
- ・出席者：五十嵐、池田、大竹、黍野、木村、今度、蓮井、村中、山崎、吉田
（計6名）
- ・欠席：なし
- ・進行・記録：大竹

《議題》

1. 新しい交通システム検討委員会の提言について
2. キーパーソンとの交流について
3. LRT模型を含めた金沢のジオラマづくりについて
4. 28年度の総会について
5. その他

《内容》

議題1 新しい交通システム検討委員会の提言について

- ・各方面からの反響、その後の状況

先般、北國新聞に金沢市議の有志により「LRT導入議員連盟」発足の記事が報じられた。議員の動きについて、否定的な記述でまとめてあったが、全体的には交通システムの土木工事に関する調査も検証もせず先入観だけで決めつけている稚拙な記事内容であった。

なお連盟の名称は「LRT・・・」ではなく「新交通システム・・・」に変更を余儀なくされたとのこと。何らかの政治的な圧力があったとみられる。発足は6月頃の予定。

また、先日の中日新聞に、地元食品会社社長の、「新交通導入の場合は、地上の自動車交通はそのままにして、地下のトンネルを掘りバスを通せ・・・」旨、インタビュー記事が掲載されていた。

理論も大義もなく議論するに値しない主張だが、検証もせずわざわざ取りあげるマスコミの姿勢、それを鵜呑みにする読者や市民への影響が危惧される。

また、この社長だけでなく経済団体の関係者で、このような50年前の時代の発想を持つ者がいるという。

- ・今後の当会の対応、見解のとりまとめ

提言に対する当会の見解を一枚の資料にまとめ、行政機関その他に機会あ

る時に説明したい。

ただ、金沢の市民が新交通に対し関心が低いのが気にかかる。特に若者の意識が低い。近年は環状道路の開通などにより街中道路の渋滞が緩和され、以前より問題意識や危機感が低下したことが原因の一つではないか。

参考情報として、最新のLRTの見積もり単価は、25億円/kmで、金沢駅ー野町駅間導入する場合は130億円かかり、西金沢駅までの伸ばす場合は20億円の追加となる。

議題2 キーパーソンとの交流について

総会後の適当な時期に、金沢市交通政策課の関係者を招き、意見交換を考える。市議会開催時期は避ける。

北陸鉄道関係者との意見交換会についても検討する。一方的な要望するのではなく、市民グループとして協力できることを提案する形式が良いのではないか。

議題3 LRT模型を含めた金沢のジオラマづくりについて

市民にLRT等新交通を理解してもらうには、模型によるジオラマ展示が、効果があると考えられる。

ジオラマ設置場所は公共的な施設が望ましい。財源や予算の課題がある。優良事例として、敦賀市に模範となるジオラマがある。

議題4 28年度の総会についてについて

6月1日(木)に開催する。役員体制、会費等は今年度と同様で提案したい。

議題5 その他

北鉄OB関係者が中心となり、市電廃止50周年の記念誌を発行した。

LRTの会では、6月10日(土)、近江町交流プラザでシンポジウムを開催する。中川大先生の基調講演等がある。広く参加者を募集する。

次回予定 … 総会・定例会 29年6月1日(木)、19:00～「あいむ」にて